



コロバだより

2017. 3. 1. No. 21

発行 沖洲放課後クラブ(愛称 コロバクラブ)

〒770-0874 徳島市南沖洲1-3-4

TEL&FAX 050-1102-0776 携帯 090-7626-5643

メール okinosu.hot.chapel@gmail.com

直接体験のすすめ

コロバクラブ 事務局 加戸 裕子



夏のキャンプでの一コマ 勇気を出して岩からの飛び込み

例が沢山報道されています。ゲーム脳と呼ばれる痴ほう症に似た恐しい現象は、せつかく神様が与えて下さった素晴らしい脳が、長時間ゲーム機に集中することによって萎縮した結果です。しかし、私たち大人は、子どもたちがゲーム機で遊んでくれていると(ゲームばかりしてと腹を立てつつも)家事がはかどるから、ケガをしなくていいから、きっと集中力や想像力もつくだろうからとついつい容認する言い訳を考え、安易に許可してしまいます。そして、豊かな直接体験をすべき大切な子ども時代をゲーム機に奪われてしまうのです。

東京でアニメ監督として活躍中の加戸誉夫氏(甥っ子に当たります。)は、「豊かな想像力はバーチャルなゲーム機ではなく、直接体験によってこそ育まれる。そして、豊かな直接体験の中で将来役立つたくさんの心の引き出しが創られる。引き出しがたくさんある人ほど想像力が豊かで、人間関係も豊かになる。」と語っています。

現在コロバクラブでは、会長の岩見先生始め、茶道の野地先生、理科の山中先生、絵画の谷添先生、音楽の富本先生等たくさんの先生方のお陰で直接体験を大事にしながら活動しています。一昨年からは、平日だけでなく、夏休みや日曜日等を利用して、キャンプやハイキング、ミカン狩りや芋掘り等の活動も行っています。今年の夏のキャンプは、香港チーム6名も加わって下さって国際色豊かな体験ができました。

関係者の方々には心から感謝します。また、今後とも子どもたちのたくさんの心の引き出し作りのためにご協力戴ければと思います。

昨年7月ポケモンGOによる死亡事故が全国で初めて徳島市において発生しました。もちろん、ポケモンGOのお陰で今まで家に引きこもっていた人が外に出るようになったと言う嬉しい報告もあるにはありますが、それにしても死亡事故を起こさせるほどに人々をのめり込ませるゲーム機の魔力は、恐るべしです。

かつて、中国で3日間インターネットカフェでゲームをし続けて死亡した青年がいましたが、台湾や韓国でも死亡




《親のためのコミュニケーション講座より》

子どもを救え! 尾木式スマホルール7か条

- ① スマホは「親が買って契約し子どもに貸している物」ということを忘れません。
- ② スマホの使用は、夜□時までとします。
- ③ スマホを使用・充電する場所は、リビング・ダイニングに限ります。
- ④ 食事中にスマホは使用しません。
- ⑤ スマホをいじらない時間に、家族で楽しく過ごせることを考えましょう。
- ⑥ スマホによるトラブルが生じたら、すぐに親に相談します。
- ⑦ ルールが守れなかったときには、□日間、親にスマホを返します。

以上のことはお父さんお母さんも守ります。一緒にスマホと上手に付き合しましょう。
年 月 日 サイン(親) サイン(子ども)



ワサの保護者会

8月3日に持たれた親のためのコミュニケーション講座では、夏休みスペシャルとして、Eテレうわさの保護者会で紹介されたスマホやゲーム機との付き合い方について話し合いました。お母さん方の子ども時代は、稲穂でカエルを釣った話やエビセンでザリガニを釣った話など豊かな体験に溢れていたことを再確認し、改めて子どもたちにも今そのような体験が必要であることや家族で楽しい時間を過ごすことの大切さを話し合いました。

《コロバスペシャルの流れ》

特別な支援が必要な子どもたちと保護者と学生ボランティアの先生方が一緒に学ぶちょっと珍しいスタイルのコロバスペシャルは、障害がない子どもたちや大人も一緒に成長していきます。まずは、①ニュースコーナー: 大人も子どもも1週間のニュースをシェアします。

その後の②ソーシャルスキルのグループワークは、会話練習や聴き取りクイズや英語ゲームなど盛り沢山。そして、コロバスペシャルお得意の③グループゲームは、体全体を使って助け合うことの素晴らしさや仲間のよさを体感し、



感情をコントロールする実際を学びます。「負けても怒りません。勝っても自慢しません。失敗しても泣きません。」自分を責めないこと、他人を責めないこと、そして、何より大切な自尊感情(素敵な私・素敵なあなた)を育みます。



※美紗子先生は、特に指導力があり、子どもたちはイトウイグなど夢中で取り組みました。感謝します。

《コロバクラブの活動日記①:夏のキャンプ》

今年のコロバクラブで一番楽しかったのは、夏のキャンプです。岩から川に飛び込んだ時が気持ちよかったです。帰ってから食べたカレーもおいしかったです。『メトロポリス』の映画も面白かったです。続きが見たくなりました。外国の人たちの劇も面白かったです。(T.H.)



キャンプが一番の思い出です。ライフジャケットを着て、岩からいっぱい飛び込みました。石や木切れで造形活動もしました。楽しかったです。(Y.M.)

《コロバクラブの活動日記②:茶道教室》

茶道が楽しかったです。私は茶道部で、お抹茶がおいしかったです。歩き方や座布団の持ち方や敷き方などの作法を学びました。(A.H.)



4年間お世話になりました。たくさんの子どもたちや先生方、保護者の方々から学ぶことができ、感謝の気持ちで一杯です。コロバでは、お茶や生け花など普段体験できないことが多く、人生の勉強になりました。素敵な人々に囲まれとても幸せでした。ありがとうございました。

(長光 千帆先生)



※千帆先生は、徳島大学の学生ボランティアの先生として在学中ずっとコロバをご指導下さいました。先生の教えて

下さった熱々ふわふわのチーズケーキは、子どもたちに大好評でした。ありがとうございました。

《コロバクラブの活動日記③:絵画教室》



ぼくは、絵画教室が楽しかったです。絵がきれいにできて、たにぞえ先生もとても工夫してくれました。とてもうれしくて、とてもきれいに出来上がりました。(T.T.)

今年度から始めてコロバクラブに通わせていただき、その中で印象に残っているのは、『はだしのゲン』の紙芝居です。子どもたちがあそこまで興味をもち、感動するという事に驚きました。時代を超えて繋いでいかなければならないことは自然と心に沁み

ていくのだなと知ることができました。他には絵画教室など夢中になってしまう程に楽しかったです。縛りのある中での創造は、アイデアの工夫が必要で、楽しかったです。(福田夏鈴先生)

《コロバクラブの活動日記④:クリスマス会》

わたしが一番楽しかったのはクリスマス会です。まず、みんなで何を作るか何のゲームをするか話し合いました。多数決でなくて、みんなが賛成できるまで話し合うので、ちょっと大変だったけど、クッキーとクリームシチューに決まってよかったです。

「自分にもよくてみんなにもいい」ことを一生懸命考えて私も発表しました。クッキー作りは、型を抜いて好きなトッピングをするのが楽しかったです。

(K.H.)



ぼくは、クリスマス会が楽しかったです。ころがしドッチをしたり、イントロクイズをしたり、動物集まりのゲームをしたりするのが楽しかったです。コロバは、大人も一緒に遊んでくれるので楽しいです。(H.S.)



毎週コロバクラブで、いつも元気な子どもたちにたくさんのエネルギーをもらいました。2年間のコロバクラブを通して、たくさんの素敵な方々に出会えたことに感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。(出本遥香先生)

※遥香先生も2年間本当にお世話になりました。コロバもコロバスペシャルもずっと指導して下さい、先生の笑顔と温かさ優しさにみんなが感激でした。秋のハイキングでのオリエンテーリング最高でした。

《コロバクラブの活動日記⑤:はだしのゲンとクリスマス生け花などなど》

